

中長期ロードマップ小委員会報告書骨子（案）

1．はじめに

気候変動問題への対応の必要性、中長期ロードマップ小委員会の目的（中長期ロードマップの精査と国民への分かり易い提示）

2．中長期ロードマップ小委員会における検討の経緯

第1回中長期ロードマップ小委員会から第16回中長期ロードマップ小委員会までの検討の経緯

3．中長期目標を達成するための対策・施策を検討するに当たっての基本的考え方

長期的な国内外の低炭素化につながり、国内外の確実な温室効果ガスの排出削減を実現するものであること

国内における温室効果ガスの排出削減の実践に加えて、世界市場への我が国のトップレベルの環境技術の普及・促進に貢献するものであること

中長期目標の実現可能性を十分に検証しつつ、我が国の経済成長、雇用の促進、エネルギーの安定供給、地域活性化、産業構造の転換、技術革新、低炭素消費の促進等の持続可能な発展に資するものとする

4．中長期目標を達成するための対策・施策の具体的な姿についての検討

4 - 1 温室効果ガス排出量についての現状分析

現状の温室効果ガスの排出量の分析

4 - 2 長期目標の達成に向けた検討

2050年までに我が国で80%削減を実現する場合の分析

4 - 3 中期目標の達成に向けた検討

90年比15%削減を国内削減で実施するとともに、90年比10%分を国際貢献により達成する場合

90年比20%削減を国内削減で実施するとともに、90年比5%分を国際貢献により達成する場合

90年比25%削減を国内削減で実施する場合についての分析

2030年の温室効果ガスの排出量見通し

4 - 4 中長期目標を達成するための施策について

横断的な施策について

日々の暮らし（住宅・建築物、自動車）における施策について

日々の暮らしの施策を実現していくために必要なコミュニケーション・

マーケティングの重要性について

ものづくりにおける施策について

地域づくりにおける施策について

エネルギー供給分野における施策について

4 - 5 中期目標の達成に向けた総合的な検討

実現可能性について

各分野における施策の提案を踏まえた中期目標の実現可能性について

費用分析

中期目標を達成する場合に必要な費用について

経済影響分析結果

中期目標を達成した場合の我が国の経済への影響について

国際的な衡平性

国際的な衡平性についての比較基準、種々の比較基準による我が国の削減量について

2050年80%削減へのつながり

中期目標が2050年80%削減という長期目標と整合した排出削減経路となっているかについて

温暖化対策に伴う副次的効果について

温暖化対策を実施することにより達成される温暖化対策以外の効果について

政府の他の施策との整合性

経済やエネルギーの観点など、政府の他の施策との整合性について

5 . 中長期目標の達成に向けた留意点、今後の検討課題

上記の検討を踏まえた中長期目標達成を目指す場合の留意点や今後の検討課題について

6 . おわりに